

2005年7月中間期 決算説明会

 **総合商研株式会社**

<http://www.shouken.co.jp>

証券コード:7850

2005年7月中間期 決算説明会INDEX

■ 2005年7月中間期 連結業績

- 概況
- 連結損益計算書
- 連結貸借対照表
- キャッシュフロー計算書
- 事業別セグメント情報
- 商業印刷事業
- 年賀状印刷事業

■ 2005年7月通期 業績予想

- 業績予想
- 対処すべき課題

■ ご参考

- 個別損益計算書
- 個別貸借対照表
- 弊社グループ

2005年7月中間期 連結業績

2005年7月中間期 概況

当中間期は、「営業基盤の拡大」と「収益体質の改善」を大目標に、
重視の受注 ②新規事業の展開 ③年賀事業の拡大 ④コストの徹底した削減 ⑤それらを支
える組織・体制の強化、を推進してまいりました。

①採算

《当中間期のトピックス》

■組織・体制

- 2004年 9月 (株)味香り戦略研究所の設立
- 2004年10月 経営企画部の新設
「制作支援センター」と「業務部」を統合し「制作センター」設置
本社営業部門の再編成(3部制→2部制)
執行役員制度の導入

◆部門別損益管理・予算管理体制の強化/新規事業の展開/社員の意識改革

■営業・業務運営

- 2004年 9月 大阪工場の一部固定資産を(株)小松印刷に譲渡、同社との提携・アウトソーシング開始
- 2004年12月 名入年賀状の受注543千件(前年比93千件増加)

◆固定費削減・変動費比率低減/制作・生産工程の管理強化(内製化)/新規営業の強化

■財務

- 2004年12月 第三者割当増資 150百万円(500,000株)

◆財務体質の改善/設備投資の抑制/キャッシュフロー重視/リスクコントロール

2005年7月中間期 連結損益計算書

■売上高は4,765百万円(前年比97.2%)と減収。

■経常利益は294百万円(前年比1400.0%)と大幅に増益

■売上高(△138百万円)↓:既存顧客との深耕・新規営業推進するも、不採算受注の削減で減少

■売上原価(△361百万円)↓:固定費削減、変動費率の低減により大幅減

■販売管理費(△93百万円)↓:経費削減・業務内制化の推進により大幅減

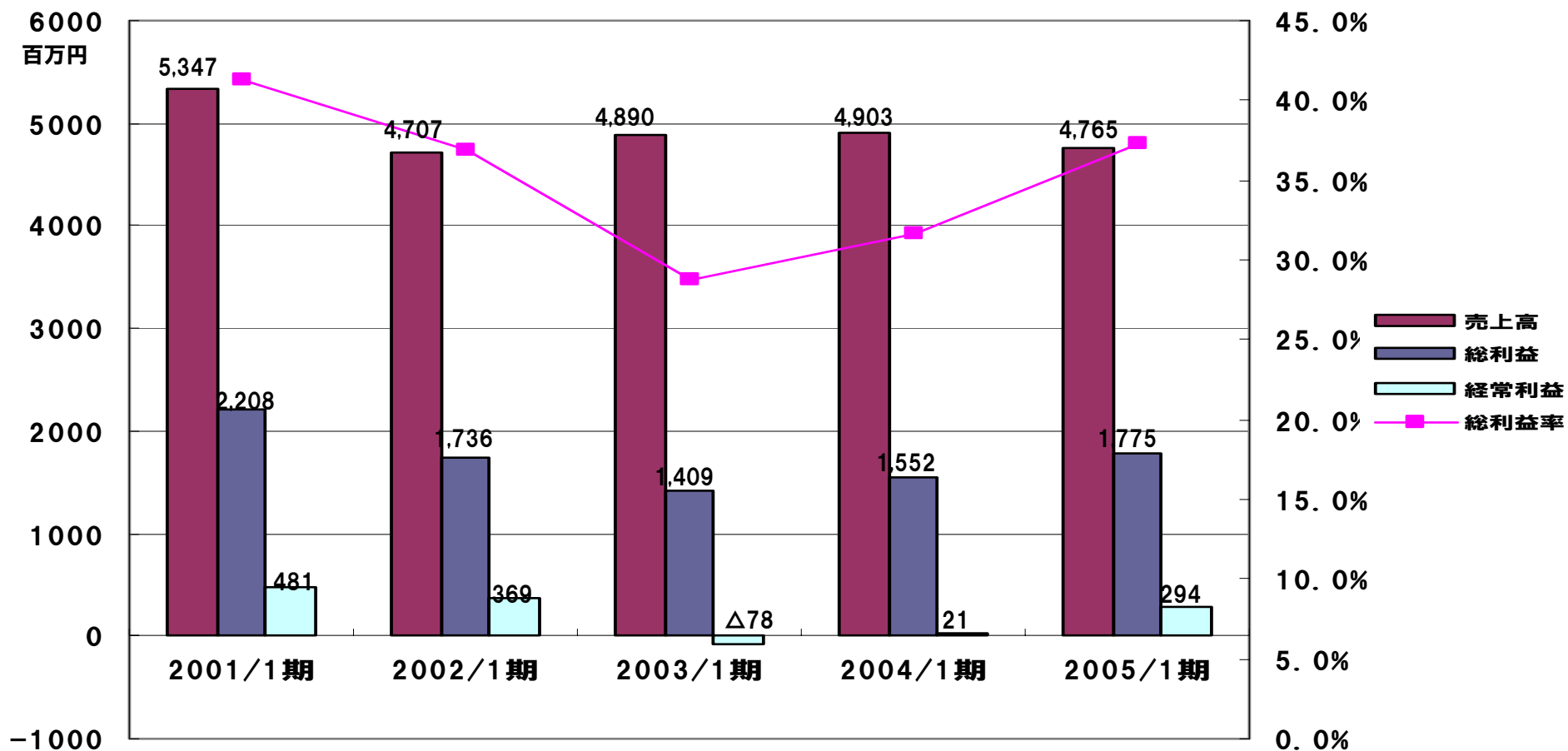
単位:百万円

	2004/7 中 間期	比率(%)	2005/7 中 間期	比率(%)	増減	前期比(%)
売上高	4,903	100.0	4,765	100.0	△138	97.2
売上原価	3,351	68.3	2,990	62.7	△361	89.2
売上総利益	1,552	31.7	1,775	37.3	223	114.4
販売費・一般管理費	1,455	29.7	1,362	28.6	△93	93.6
営業利益	96	2.0	413	8.7	317	430.2
経常利益	21	0.4	294	6.2	273	1400.0
当期純利益	△358	△7.3	256	5.4	614	-
材料費	1,442	29.4	1,241	26.0	△201	86.1
外注費	594	12.1	647	13.6	53	108.9
人件費	701	14.3	756	15.9	55	107.8
減価償却費+リース料	337	6.9	271	5.7	△66	80.4

中間期 損益推移

■売上総利益率が前中間期比5.6%アップ

41.3% (01/1期) → 36.9% (02/1期) → 28.8% (03/1期) → 31.7% (04/1期) → 37.3% (05/1期)



損益分析(前2期収益低下の要因分析)

全社合計(通期)

単位:百万円

	2001/7	2002/7	2003/7	2004/7
売上高	8,144	8,417	8,486	8,654
売上総利益	3,027	2,854	2,280	2,507
営業利益	415	430	△239	△126
材料費	1,995	1,900	2,142	2,488
外注費	1,086	1,354	1,361	1,165
業務委託費	137	247	342	347
減価償却費+リース料	582	633	770	660
投資額合計(含リース)	777	1,031	1,318	266
期末人員	236	269	205	285

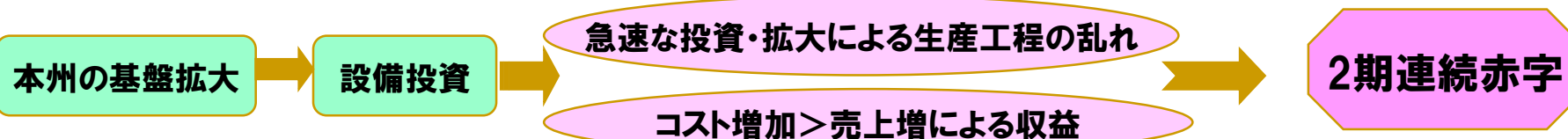
■ 同期間の出来事

- 2001年4月 厚木工場稼動(オフ輪2台導入)
- 2002年2月 和歌山営業所開設
- 2002年8月 大阪工場設置(オフ輪2台導入)

大阪(関西)

	2001/7	2002/7	2003/7	2004/7
売上高	436	1,083	1,257	1,559
売上総利益	120	462	293	290
営業利益	24	200	△117	△104
材料費	112	173	426	632
外注費	202	416	279	275
業務委託費	3	82	148	112
減価償却費+リース料	1	15	157	179

	2001/7	2002/7	2003/7	2004/7
売上高	1,220	1,313	1,361	1,449
売上総利益	578	423	237	315
営業利益	251	54	△147	△97
材料費	135	315	527	582
外注費	290	249	191	165
業務委託費	35	49	67	70
減価償却費+リース料	40	110	154	160



2005年7月中間期 連結貸借対照表

- 固定資産売却・在庫圧縮・借入金減少により総資産は532百万円減
- 第三者割当増資、増益により自己資本比率は、13.7%→16.5%に増加。

単位:百万円

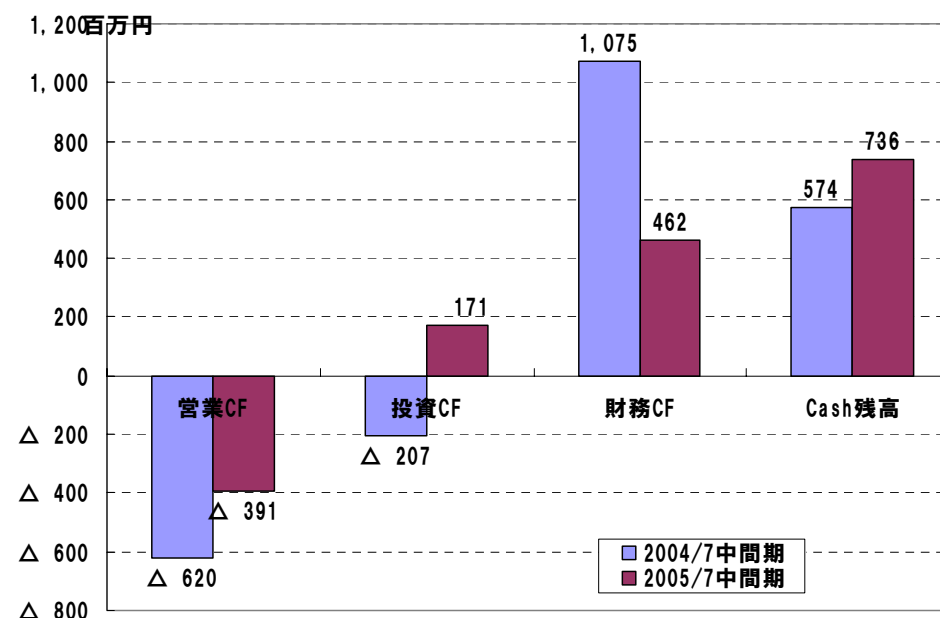
	2004/7 中間期	2005/7 中間期	増減		2004/7 中間期	2005/7 中間期	増減
現金預金	574	736	162	仕入債務	855	704	△151
売上債権	1,805	1,981	176	短期借入金	3,035	3,397	362
棚卸資産	325	214	△111	その他	493	385	△108
その他	553	343	△210	流動負債計	4,384	4,488	104
【流動資産計】	3,258	3,275	17	長期借入金	1,267	559	△708
有形固定資産	3,213	2660	△553	その他	886	824	△62
無形固定資産	314	348	34	固定負債計	2,154	1,384	△770
投資等	797	768	△29	【負債合計】	6,538	5,872	△666
【固定資産計】	4,325	3,777	△548	【少数株主持分】	5	18	13
				資本金	319	394	75
				剰余金等	721	767	46
				【資本合計】	1,040	1,161	121
資産合計	7,584	7,052	△532	負債資本合計	7,584	7,052	△532

2005年7月中間期 連結キャッシュフロー計算書

- 収益改善により、営業活動によるキャッシュフローが229百万円改善
- 固定資産売却、設備投資抑制等により投資活動によるキャッシュフローは171百万円
- 長期借入金返済による支出を、短期借入金及び新株発行による収入が上回り、**財務活動**によるキャッシュフローは462百万円

単位:百万円

	2004/7 中間期	2005/7 中間期	増減
営業活動によるCF	△620	△391	229
投資活動によるCF	△207	171	378
財務活動によるCF	1,075	462	△613
現金・現金同等物期末残高	574	736	162



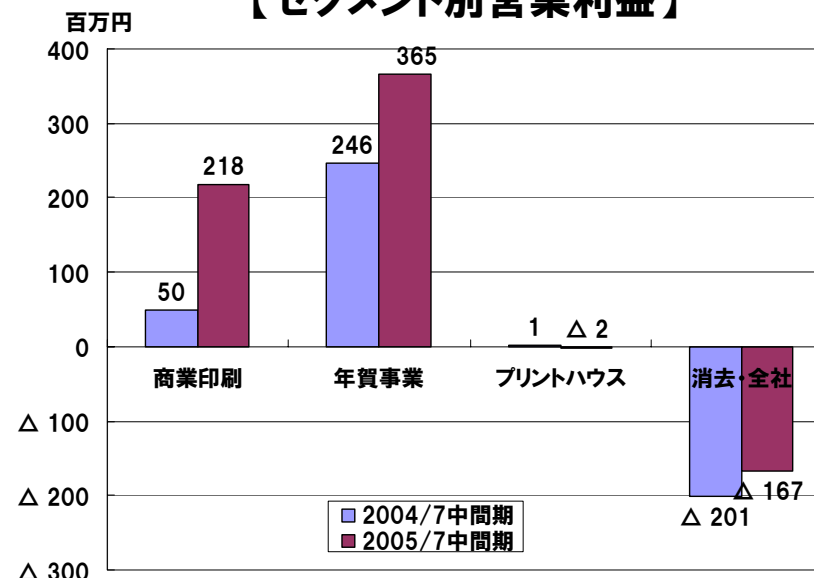
2005年7月中間期 事業別セグメント情報

- 商業印刷、年賀事業ともに大幅に収益改善
- プリントハウス事業はほぼ横ばいの推移
- 間接部門経費も改善

単位:百万円

	商業印刷			年賀事業		
	04/7 中間期	05/7 中間期	増減	04/7 中間期	05/7 中間期	増減
売上高	3,597	3,493	△104	1,229	1,226	△3
売上総利益	870	1,007	137	635	735	100
営業利益	50	218	168	246	365	119

【セグメント別営業利益】



	プリントハウス			消去又は全社			合計		
	04/7 中間期	05/7 中間期	増減	04/7 中間期	05/7 中間期	増減	04/7 中間期	05/7 中間期	増減
売上高	76	60	△16	—	△14	△14	4,903	4,765	△138
売上総利益	45	33	△12	—	0	0	1,552	1,775	223
営業利益	1	△2	△3	△201	△167	34	96	413	317

2005年7月中間期:商業印刷事業

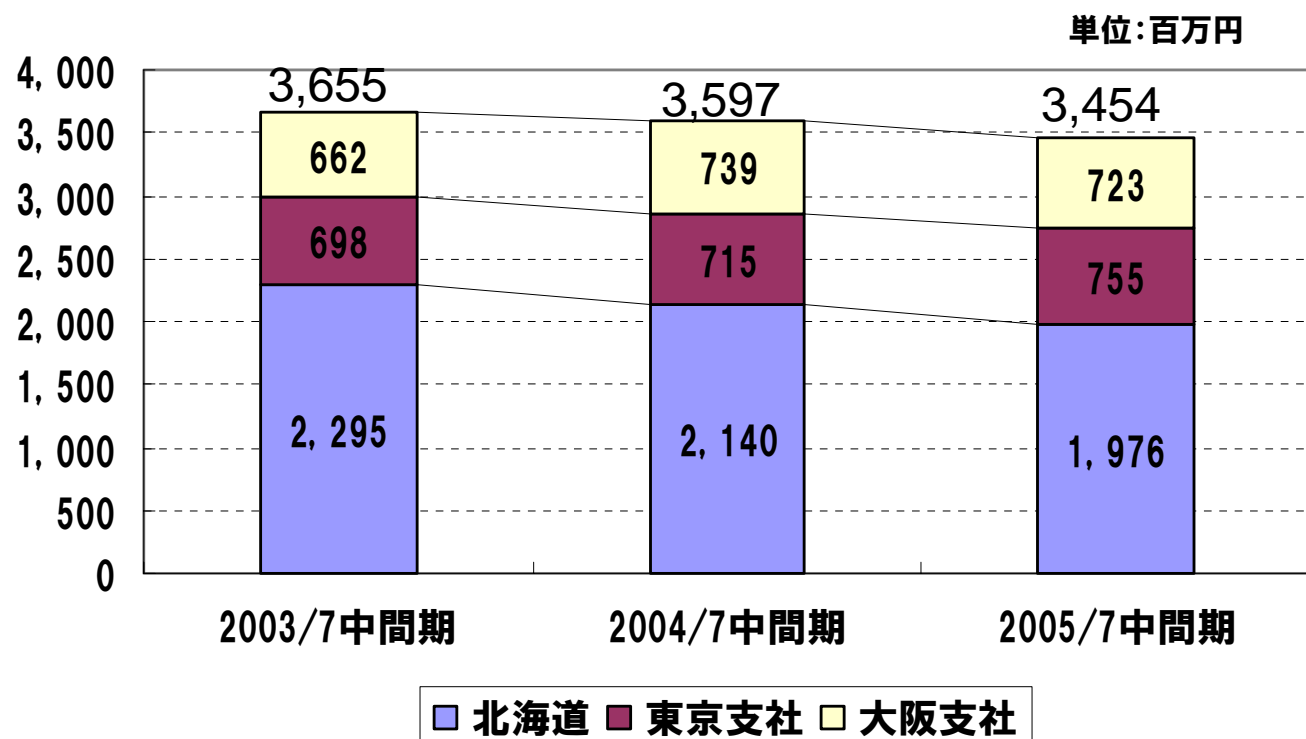
- 既存顧客との深耕・新規推進するも不採算受注を削減⇒売上高104百万円減
- 固定費の削減、変動費率の低減⇒売上総利益率4.6%アップ
- 内制化による業務委託費の削減(△83百万円)等⇒営業利益168百万円増

単位:百万円

	2004/7 中間期	比率(%)	2005/7 中間期	比率(%)	増減	前期比(%)
売上高	3,597	100.0	3,493	100.0	△104	97.1
売上原価	2,726	75.8	2,486	71.2	△240	91.2
売上総利益	870	24.2	1,007	28.8	137	115.7
販売費・一般管理費	819	22.8	789	22.6	△30	96.3
営業利益	50	1.4	218	6.2	168	436.0
材料費	1,072	29.8	924	26.5	△148	86.2
外注費	540	15.0	577	16.5	37	106.9
人件費	430	12.0	501	14.3	71	116.5
減価償却費+リース料	269	7.5	205	5.9	△64	76.2

商業印刷事業:拠点別売上高の推移

- 北海道：販促システム導入により一部クライアントで売上減
- 東京支社：新規クライアント獲得による受注増
- 大阪支社：不採算受注削減、既存クライアントの取引拡大でほぼ横ばい



(注) 上記数値は、総合商研(株)の個別財務諸表に基づいております。

2005年7月中間期:年賀状印刷事業

- 新規開拓により利益率の高い名入年賀状が受注増 543千件(93千件/20.7%増)
- 利益率の低いパック年賀状を縮小 991千件(411千件減/29.3%減)
- 販売品目(名入、パック)の構成変化⇒収益構造の改善
- 業務効率化(カラークレバープレスの導入)・経費削減・在庫圧縮
- 年賀状印刷の札幌集約化(前期は大阪工場でも印刷)による経費効率化

単位:百万円

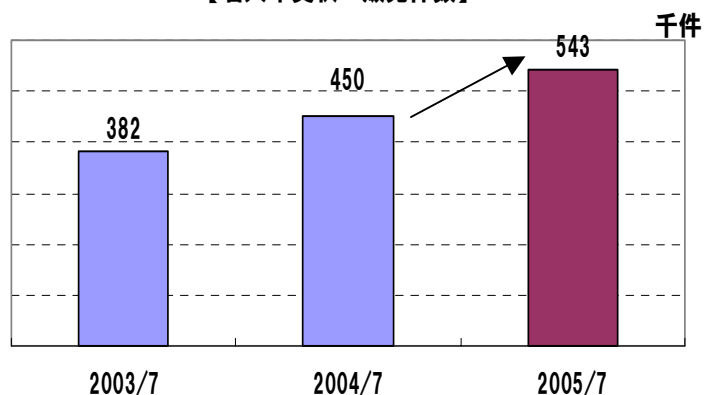
	2004/7 中間期	比率(%)	2005/7 中間期	比率(%)	増減	前期比(%)
売上高	1,229	100.0	1,226	100.0	△3	99.8
売上原価	594	48.3	491	40.0	△103	82.7
売上総利益	635	51.7	735	60.0	100	115.7
販売費・一般管理費	389	31.7	369	30.1	△20	94.9
営業利益	246	20.0	365	29.8	119	148.4
材料費	352	28.6	307	25.0	△45	87.2
外注費	42	3.4	68	5.5	26	161.9
人件費	181	14.7	172	14.0	△9	95.0
減価償却費+リース料	39	3.2	40	3.3	1	102.6

年賀状印刷事業:製品別販売状況の推移

名入年賀状

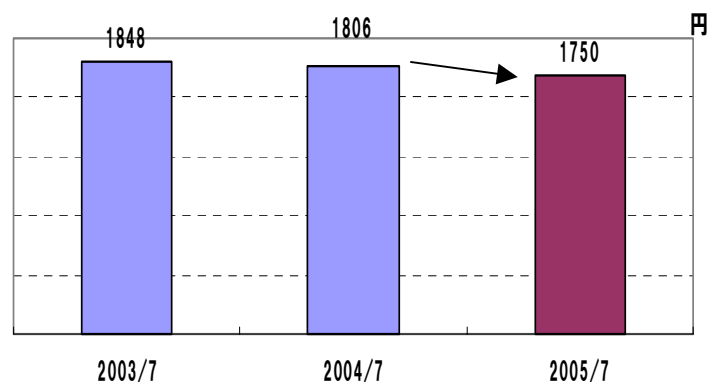
【名入年賀状：販売件数】

販売件数



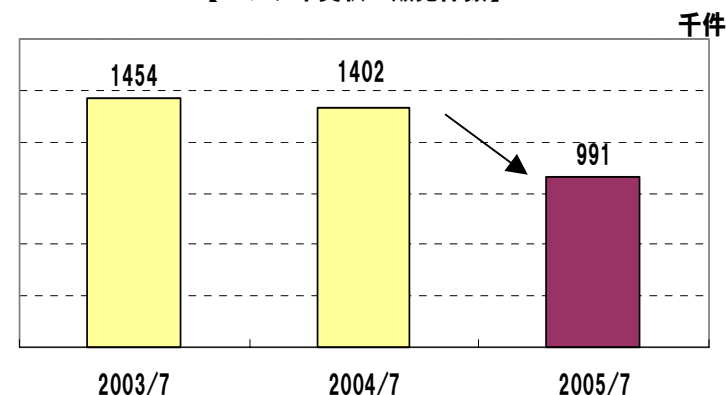
【名入年賀状：1件当たり単価】

1件当たり単価

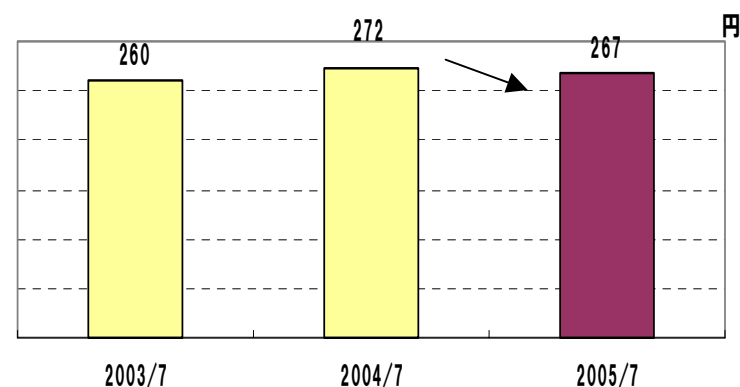


パック年賀状

【パック年賀状：販売件数】



【パック年賀状：1件当たり単価】



2005年7月通期（第34期）業績予想

2005年7月通期 業績予想

- 売上高は、業界競争激化の中、採算重視の受注を引き続き推進することにより、
厳しく見積もり、従来計画より450百
万円減の8,150百万円に修正

- 収益は、中間期同様に、コストの徹底した抑制と削減により、期初計画以上を確保

- 変動費比率の低減

(コストコントロール/工場稼働率の向上/内製化)

- 設備投資の抑制

(03/7期 1,318百万円→04/7期 266百万円→05/7期計画 150百万円)

- 経費の削減

(全経費項目の見直し/効果測定/改善)

2005/7月期 連結業績予想

	従来予想	修正予想
売上高	8,600	8,150
経常利益	110	160
当期純利益	55	120

単位:百万円

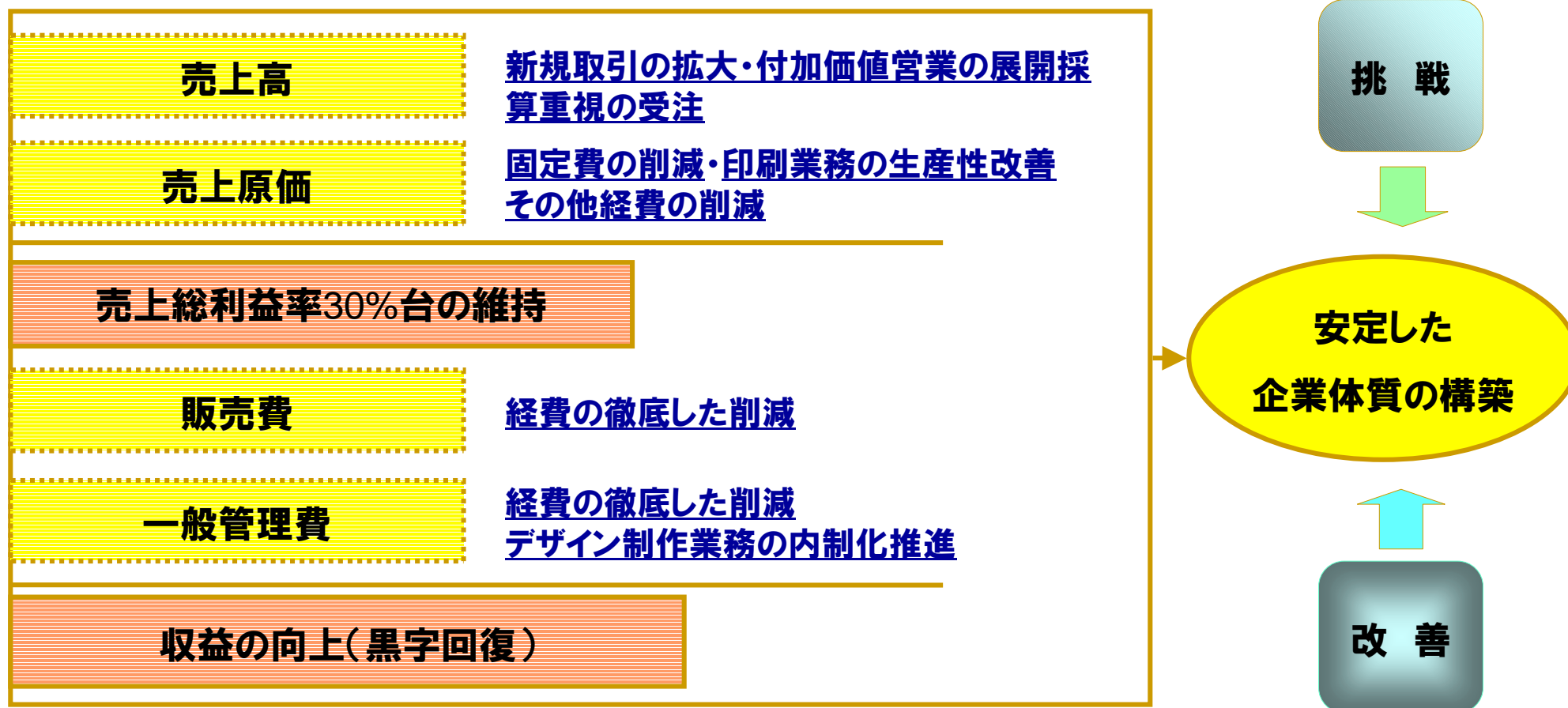
2005/7月期 単独業績予想

	従来予想	修正予想
売上高	8,500	8,100
経常利益	100	180
当期純利益	50	140

単位:百万円

2005年7月通期 対処すべき課題と目標

■営業基盤拡大、黒字回復、安定した企業体質へ



ご清聴ありがとうございました。



総合商研株式会社

※当資料は、あくまで総合商研グループをより深く理解していただくためのものであり、投資を勧誘するものではありません。将来の予測については、見直し等により予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

ご参考～個別損益計算書

単位:百万円

	2004/7 中 間期	比率(%)	2005/7 中 間期	比率(%)	増減	前期比(%)
売上高	4,898	100.0	4,741	100.0	△157	96.8
売上原価	3,351	68.4	2,973	62.7	△378	88.7
売上総利益	1,546	31.6	1,768	37.3	222	114.4
販売費・一般管理費	1,444	29.5	1,343	28.3	△101	93.0
営業利益	101	2.1	425	9.0	324	420.8
経常利益	27	0.6	309	6.5	282	1144.4
当期純利益	△354	—	269	5.7	623	—
材料費	1,464	29.9	1,241	26.2	△223	84.8
外注費	594	12.1	661	13.9	67	111.3
人件費	688	14.0	733	15.5	45	106.5
減価償却費＋リース料	332	6.8	264	5.6	△68	79.5

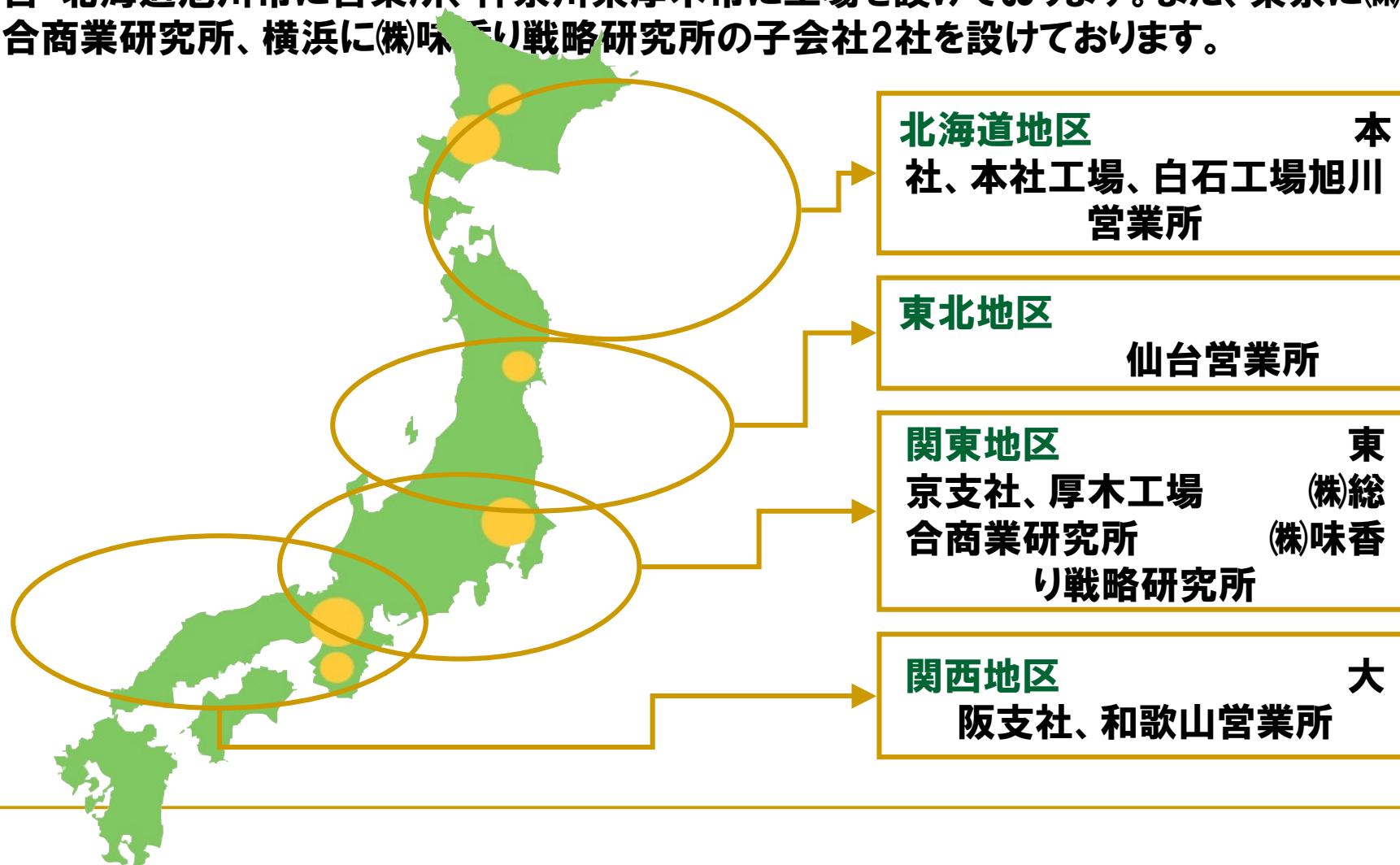
ご参考～個別貸借対照表

単位:百万円

	2004/7 中間期	2005/7 中間期	増減		2004/7 中間期	2005/7 中間期	増減
現金預金	550	688	138	仕入債務	855	704	△151
売上債権	1,804	1,965	161	短期借入金	3,035	3,397	362
棚卸資産	325	196	△129	その他	495	375	△120
その他	561	347	△214	流動負債計	4,386	4,477	91
【流動資産計】	3,241	3,197	△44	長期借入金	1,267	559	△708
有形固定資産	3,187	2,636	△551	その他	886	824	△62
無形固定資産	324	343	19	固定負債計	2,154	1,384	△770
投資等	846	871	25	【負債合計】	6,540	5,862	△678
【固定資産計】	4,358	3,851	△507	資本金	319	394	75
				剰余金等	740	792	52
				【資本合計】	1,059	1,186	127
資産合計	7,600	7,048	△552	負債資本合計	7,600	7,048	△552

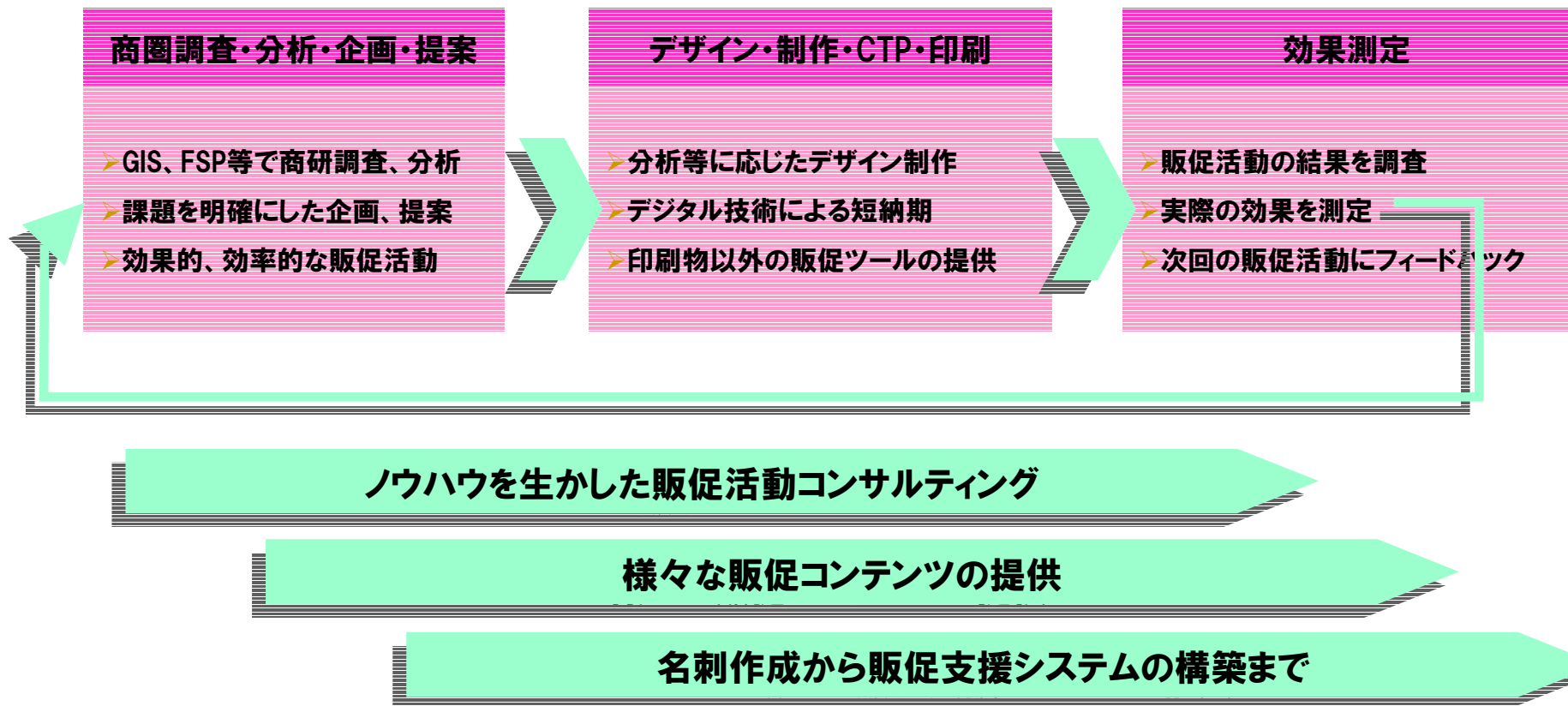
ご参考～弊社グループの概要

弊社は、札幌に本社、本社工場、年賀状印刷工場を置き、東京・大阪に支社、和歌山・仙台・北海道旭川市に営業所、神奈川県厚木市に工場を設けております。また、東京に(株)総合商業研究所、横浜に(株)味香り戦略研究所の子会社2社を設けております。



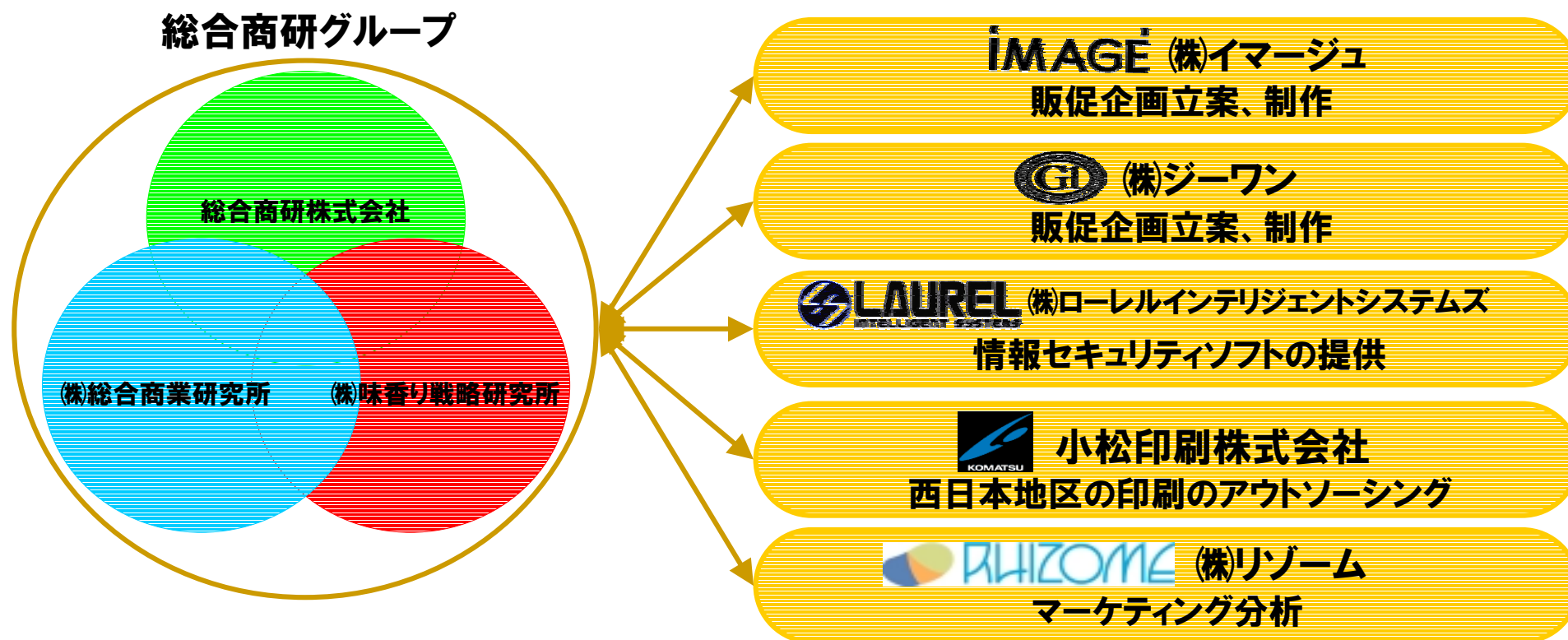
ご参考～弊社グループの機能

企画・提案から効果測定までのトータルサポート体制を構築
ノウハウを生かしたコンサルティング、販促コンテンツを提供




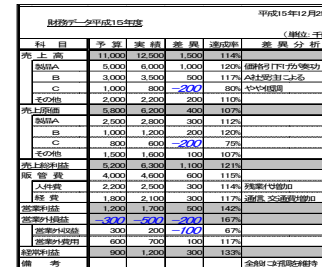
ご参考～弊社グループ・提携先のご案内

多様な技術、特長を備えたパートナー企業との連携



(株)総合商業研究所では、顧客企業へのサービス拡充や経営上の問題解決のためのソリューションまた企業の信頼を保つセキュリティソリューションの提供を行っております。

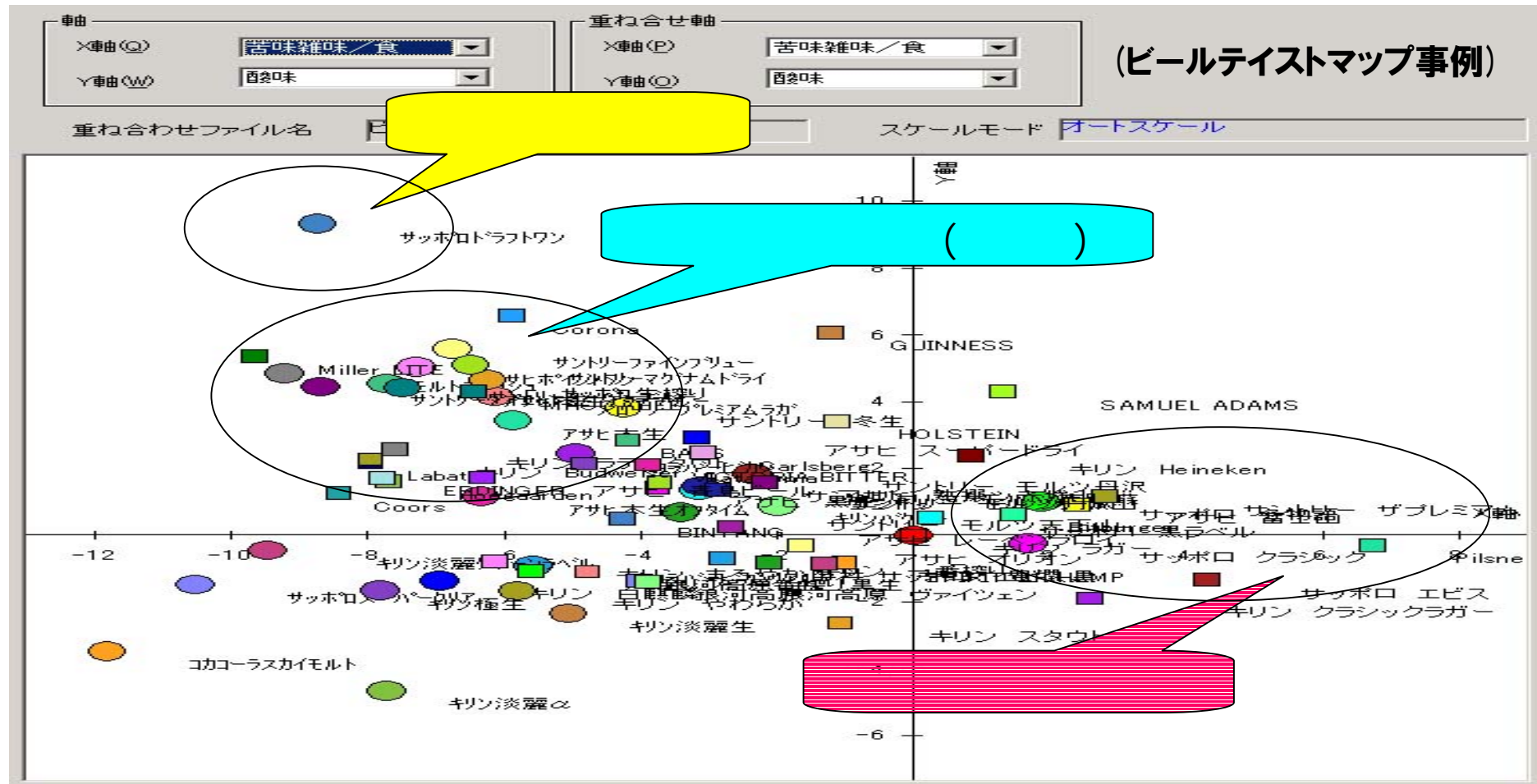
FSS基本パッケージ for Macintosh



24

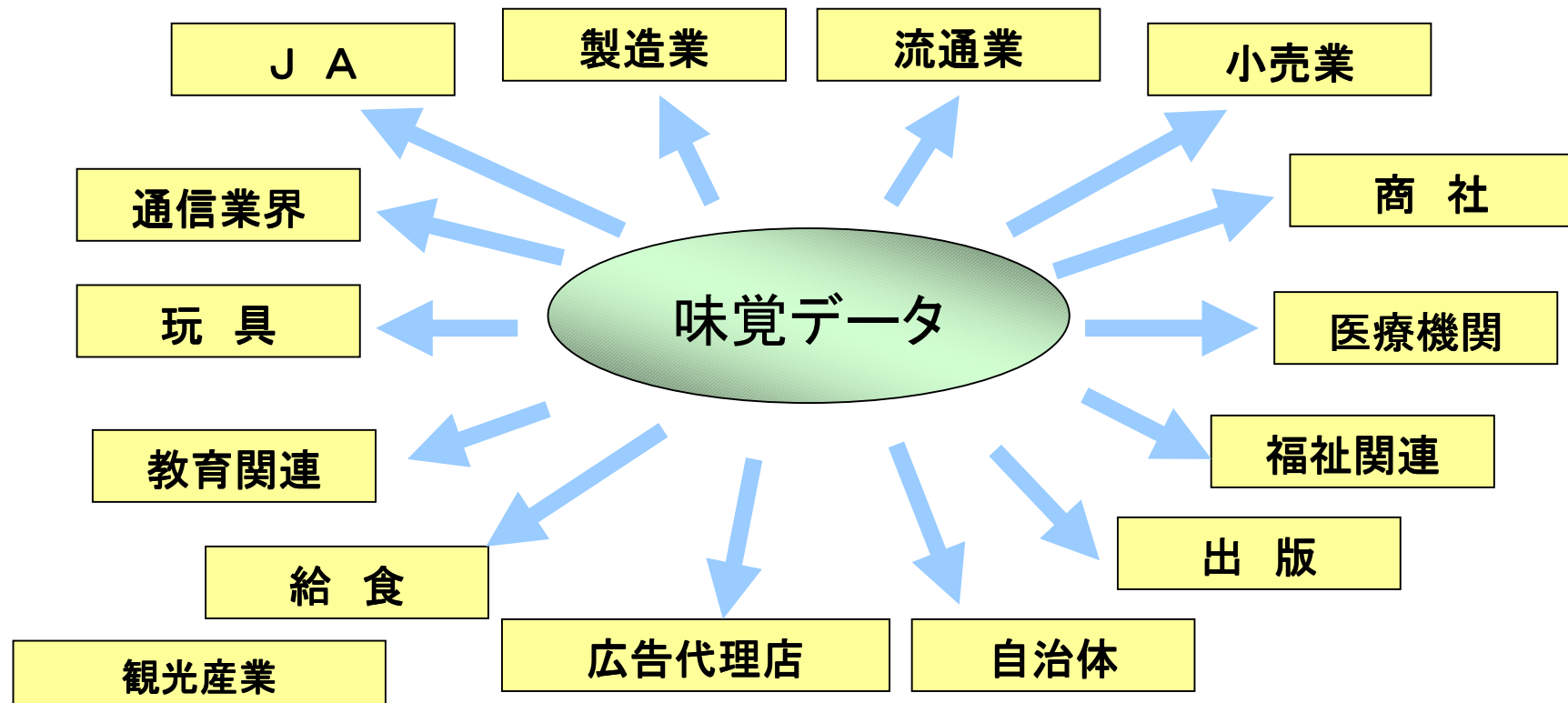
ご参考～弊社グループ・(株)味香り戦略研究所のご案内

味香り戦略研究所ではテイストマップの提供並びに味覚を通じた分析サービス展開により食品メーカー、流通小売業等の企業や研究機関の味覚データニーズ、新商品開発・マーケティングコンサルティングニーズに応えております。



ご参考～弊社グループ・(株)味香り戦略研究所のご案内

味香り戦略研究所では総合商研グループの強みである流通小売業向けソリューションサービスのみならず、食品産業に隣接する様々な事業領域に対してサービスを提供、本業である販売促進支援、印刷ビジネスとの相乗効果を図ります。



ご参考～弊社グループ・(株)味香り戦略研究所のご案内

昨年9月に設立した(株)味香り戦略研究所は、九州大学と連携した産学連携プロジェクトとして運営、九州大学発ベンチャー企業として個人の味覚情報並びに各食品の味覚情報のデータベースの構築を行い、食を媒介とした様々な企業へ新しいコンテンツの提供を行っております。

